

防災事業に関する取組事例シート

市 町 村 名： 八尾市
所 属 名： 危機管理課
連 絡 先： 072-924-9870
シート作成年月： 令和4年3月

事業	防災協定		
タイトル	災害発生時の「ペット同伴車両避難」専用避難場所に関する協定の締結		
概要	「アクロスプラザ八尾における災害時の『ペット同伴車両避難』専用避難場所及び物資の供給に関する協定」を、防災の日である令和3年9月1日に締結しました。「ペット同伴車両避難」に特化した専用避難場所を確保する協定は、市街地において、全国で前例が見当たらない事例です。		
内容	<p>1. 背景 平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、住民は緊急避難を余儀なくされたため、自宅にとり残され、飼い主とはぐれたペットが放浪状態となった例が多数生じました。また、飼い主とペットが共に避難できた場合でも、避難所では動物が苦手な方や、アレルギーをお持ちの方を含む多くの避難者が共同生活を送るため、一緒に避難したペットの取扱いに苦慮する例も見られました。 八尾市においても、これまで各地で発生した大規模災害での様々な課題・教訓を踏まえ、「ペットに関すること」「車両避難に関すること」への対応が大きな課題となっていました。これら課題に対応すべく、市域東部山麓地区の土砂災害警戒区域、及び南部に位置し東西に流れる一級河川「大和川」流域のいずれからもアクセスが可能で、かつ、広大な駐車場を有し、応急物資の供給機能も併せ持っている「アクロスプラザ八尾」の施設提供を受けることとなりました。さらに、災害時のペットとの避難について全国的に課題となっていることに理解を得たことから、施設を活用した避難所運営に関して八尾市保健所とも連携を図りながら協議を進め、本協定の締結に至りました。</p> <p>2. 体制整備 「ペット同伴車両避難場所」としての機能充実と避難者受入体制を強化するため、ソフト面の取組みとして、平時から大阪府動物愛護畜産課、八尾市保健所及び危機管理課が連携をとり、連携体制の構築を図ります。 また、ハード面においては防災備蓄倉庫の設置をはじめ、テントや机などの避難所運営用資器材、弾性ストッキングなど車両避難用物資、プライバシー保護及びペットの逸走防止対策のための区分けフェンス等の備蓄物資を整備し、ソフトとハードの両輪で当該避難場所の機能充実・強化を図ります。</p> <p>3. 今後の展開 本施設を「車両避難」「動物救護」をはじめ防災減災対策・活動の発信拠点として位置付け、大阪府をはじめとする関係機関との連携体制を確立し、府下を舞台に広く同様の施設拡充をはじめとした取り組みを進めていきたいと考えます。 今後、アクロスプラザ八尾において「ペット同伴車両避難訓練」の実施も計画しており、より実行性のある避難所運営を目指していきます。</p>		
リンク先	https://www.city.yao.osaka.jp/0000038344.html	QR コード	なし